

# 施設老朽化が莫大な財政圧迫に

## 質問

公共施設の老朽化により、建て替えや改修で、将来財政圧迫となることは、一年半前から議会で取り上げてきた。

平成22年に副市長は「研究していく」と、23年には総務部長は「施設の老朽化データを総務部でとりまとめるのが望ましい」と答弁した。具体的にどのような危機感を現在もっているのか。

## 総務部長

経費も含め、現状の施設を



吉川三津子 議員

どうすべきか真剣に考えねばならないが、実務が伴っていないのが実情だ。

## 質問

市がなかなか取り組まないので、老朽化対策の先進地である神奈川県秦野市の手法で、愛西市の施設データを分析してみた（下グラフ）。

現在の施設を維持するならば、平成38年～42年に年間14億円、その後47年までが年間28億円、その後52年までが年間30億円の建て替え費用など

がかかり、学校の建て替えも集中的にやってくるのがわかった。

さらに東洋大の分析手法で道路や橋梁、市単独の上下水道も含めて試算すると、年間45億円以上の費用がかかる。市には、これだけの費用を捻出できる余力があるのか。

## 企画部長

現段階の市の財政には、これだけの余力はない。

## 質問

そこであるならば、緊急の課題だ。

先進地では、市の全施設を管理する部署を設置している。また、施設の統合や廃止に対する市民からの反対の声には、情報公開をし、足を使って理解してもらっている。まずは、職員自らがデータ分析し、危機感を持つべきではないか。

## 総務部長

全庁的に取り組まねばならない大きな問題だ。この計画

を上位計画にする考えがある。

一部統合も含めて整理をしていかねばならない。貴重な資料作成に感謝し、これに基づき、できることから進める。

## 質問

先進自治体は、専門知識のある民間人の採用をしている。市長の考えは。

## 市長

民間からの採用もやぶさかではない。

# 照明機器を取替え、電気代削減を

## 質問

大和郡山市では、庁舎の照明を110W×2灯を32W×2灯に替え、個々の機器に反射板と紐スイッチを付け、LEDより明るく、電気代を3分の2に削減している。器具代も1年半で回収でき、更に公民館や体育館、学校などの取り替えも進めて効果を上げている。

## 総務部長

おもしろいアイデアであり一つの方策だ。施設の耐用年数をかんがみて計画を立てる。

